



KOTORIDAYORI

江東リハビリテーション病院

ことうりは便り

KOTO REHA NEWSLETTER

CONTENTS

新年のご挨拶

お正月行事

大忘年会

音楽セラピー

中学生職場体験

医療安全推進週間

地域向け健康教室

『お肌と健康のためのやさしいスキンケア講座』

院内向け健康教室

『上手に食べて健康生活』

行事食

新年のご挨拶



院長
うめきた のぶたか
梅北 信孝

2026年 新年明けましておめでとうございます。昨年中はお世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。
 今年の干支は丙午です。60年前には出生数が前後の年より25%も減少したそうです。さすがに今は迷信を信じて出産を控える人はいないと思いますが、江東区の出生数は2015年の4843人をピークに減少続き、2023年には3582人となっています。しかし総人口は増加しており2035年までにさらに2万人増える見込みとのことです。世帯数も増加しており、独居ないしは二人暮らしの高齢者の比率は上昇するものと考えられます。開院当時よりも地域の回復期リハビリテーション病床はかなり増加しましたが、今後は在宅復帰後の介護を中心とした維持期リハビリテーションにも注力する必要があります。社会保障制度も刻々と変化しています。当院は地域に根差した質の高いリハビリテーション専門病院として努力してまいります。
 本年が皆様にとって良い年であるようお祈り申し上げます。

お正月行事

今年も毎年お正月恒例、『江東神社』が病院内に登場しました。今回、本殿のリニューアルのため、約5年ぶりに棟梁をさせていただきました。建築素材の発注から設計、組立と忙しい毎日で大変でしたが、建築仲間が多かったこともあり、楽しく建築することができました。
 年始には初詣をはじめとした正月イベントを楽しんでくれる患者さんや家族様を見ることができ、頑張った甲斐があったなと感じました。
 また建築に携わることがあれば、積極的に参加させていただきます！
 リハビリテーション科 作業療法士 青矢



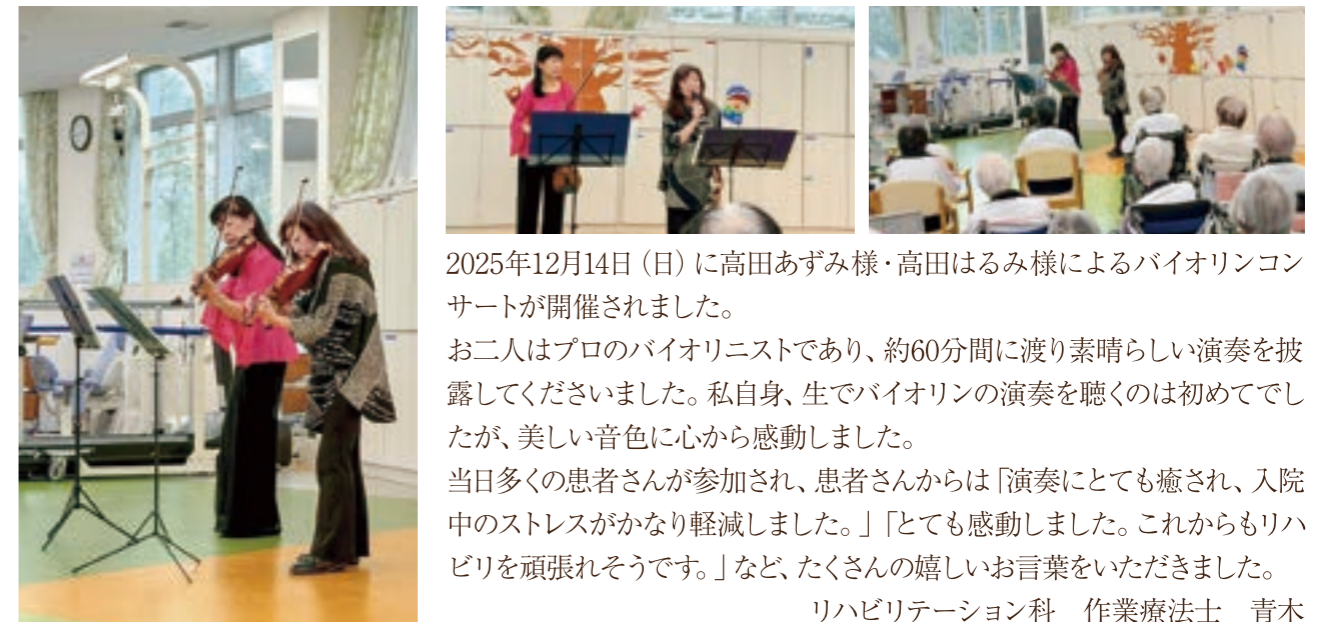
大忘年会



2025年12月16日(火) ホテルイースト21東京にて大忘年会を開催いたしました。乾杯とともに彩り豊かな料理が次々と並び、にぎやかな雰囲気の中で始まりました。会の途中には、有志の皆さんによる余興が披露され、思わず笑みがこぼれる場面が続きました。さらに今年も抽選会が行われ、期待と歓声が入り混じった終始活気ある会となりました。参加者それぞれが交流を深め、今年1年の締めくりに相応しいひとときとなりました。来年もまた、このような楽しい時間を過ごすことができるよう願っております。

医事課 森

音楽セラピー



2025年12月14日(日)に高田あずみ様・高田はるみ様によるバイオリンコンサートが開催されました。お二人はプロのバイオリニストであり、約60分間に渡り素晴らしい演奏を披露してくださいました。私自身、生でバイオリンの演奏を聴くのは初めてでしたが、美しい音色に心から感動しました。当日多くの患者さんが参加され、患者さんからは「演奏にとっても癒され、入院中のストレスがかなり軽減しました。」「とても感動しました。これからもリハビリを頑張れそうです。」など、たくさんの嬉しいお言葉をいただきました。
 リハビリテーション科 作業療法士 青木

中学生 職場体験

2025年11月19日（水）～11月21日（金）に第三亀戸中学校2年生6名、11月26日（水）～28日（金）に第四砂町中学校2年生8名が職場体験学習として当院に訪れました。

初日は医療技術部と事務部、2日目は看護部、3日目はリハビリテーション科と、それぞれの部署で熱心に説明を聞きながら、積極的に取り組む姿が見られました。3日間の様子をご紹介します。



第三亀戸中学校の皆さん



薬剤科の仕事を見学

医療連携室 末次



ドキドキ



初めての経験



栄養士の仕事に興味津々



めったに出来ない事ばかりで楽しかった！



免荷式歩行初体験



装具を付けてみた



第四砂町中学校の皆さん

医療安全推進週間



医療安全推進週間での取り組みとして、これまでは安全に関する標語を募集し掲示してまいりましたが、2025年度は医療安全確保のための業務改善計画を掲示することといたしました。その中のいくつかをご紹介します。

2025年度 医療安全確保のための業務改善計画

改善部署	改善内容
看護部	<ul style="list-style-type: none"> デイルームの見守り強化を行い、安全性の向上及び転倒・患者誤認等のリスクの軽減を図る。 内服自己管理訓練に関するケースカンファレンスを行う。 タイムリーなヒヤリハット報告の共有・検討を行う。
リハビリ科	<ul style="list-style-type: none"> 事例発生時に即時、スタッフ及び環境要因を中心とした分析と改善策の考案、部署間での情報共有を強化することでスタッフの意識改善と再発防止につなげる。
総務課	<ul style="list-style-type: none"> 院内設置時計について、定期的な時刻及び調整作業を行っていく。

全体の傾向として、「転倒転落」と、「薬剤関連」に大別されました。転倒転落に関する具体的な対策としては、定期的なミーティングにおいて、ADLアップや自立度チェック、離床センサーの使用などの検討について、多職種による情報交換と妥当性の検討を徹底していくことが考えられました。

薬剤関連においては、内服薬自己管理導入の妥当性と、自己管理導入後の患者さんに対する適切な声かけや、患者さん自身で行う内服薬の準備が正しく行えているかの確認等のフォローアップを実施していくことが必要と考えられました。

各部署で考案した対策を、医療安全推進週間に院内掲示・周知することで、職員の医療安全に関する意識の向上及びインシデントやアクシデント発生防止につなげてまいります。

地域向け健康教室



お肌と健康のためのスキンケア講座

お肌と健康のためのやさしいスキンケア講座

<本日の内容>

①お肌の基礎知識	②よくある肌トラブル	③今日からできるスキンケア
④スキンケアと健康のつながり	⑤よくある疑問	⑥まとめ

⑥ まとめ

- ☆皮膚は人体最大の臓器で、保護作用（バリア機能）、分泌作用、体温調節作用、貯蓄作用、排泄作用といった様々な機能を持っている
- ☆スキンケアの3本柱：洗浄（こすらない）・保湿（毎日行う）・保護（紫外線からの保護）
- ☆スキンケアは健康生活につながっている
- ☆いいお肌を保つためには、運動・栄養・睡眠も大切！
- ☆ケア用品はイメージに惑わされず、しっかり確認する

今回の地域健康教室は、「お肌と健康のためのスキンケア講座」と題して、お話をさせていただきました。出席された皆様は、とても熱心に聞いてくださいました。また、質疑応答の時間にはたくさんのご質問をいただき、スキンケアの関心の高さを感じました。まだまだ乾燥の季節が続きます。適切なスキンケアで健康維持につなげていただきたいと思います。

薬剤科 楢貝

院内向け健康教室

上手に食べて健康生活



一日に必要なエネルギー量を知りましょう

・基礎代謝量×身体活動レベルで必要エネルギー量を決定します。

・基礎代謝量とは？
運動をせずに安静にした状態で消費されるエネルギー代謝の量

【身体活動レベル】	18~64歳	65~74歳	75歳以上
1.20	1.36	1.75	2.00
1.37	1.50	1.75	1.90
1.55	1.49	1.70	-

昼食編 ~パンの場合~

たんぱく質と野菜も積極的に摂る

メロンパン (80g) エネルギー 260kcal たんぱく質 6.3g	あんパン (80g) エネルギー 220kcal たんぱく質 6.4g	サンドイッチ(ミックソ) エネルギー 316kcal たんぱく質 12.9g
--	---	--

野菜が少ないパンの場合は、サラダや野菜ジュースをプラス！

※菓子パン類は野菜と野菜に富りがち

今回の健康教室では「上手に食べて健康生活」をテーマに、普段の食事を振り返りながら、無理なく続けられる工夫についてお話をしました。また患者さん自身に必要な栄養量を計算していただき、自分に合った食事量を知っていただく機会を設けました。

この取り組みが日々の食事や健康について少しでも意識するきっかけになれば嬉しく思います。

栄養科 管理栄養士 内野



2025年12月31日~2026年1月2日

年末年始食事カレンダー

三十一日



年越し天ぷらそば
南瓜のそぼろ煮
抹茶のパバロア



常食

元旦



赤飯
祝杖
金目鯛の煮付け
おせち盛り合わせ



超軟菜食



ベスト食

二日



ちらし寿司
清汁
鶏肉と茄子の浸し
寿饅頭



常食



超軟菜食

ソフト食



常食

患者さんの声

12/31 年越しそば

- ・念願の揚げ物が出て嬉しかった。 ・年越し蕎麦が食べられて嬉しいです。 ・海老の衣が多いね。
- ・海老がのっけていて豪華だね。 ・抹茶のプリンが美味しいです。 ・かぼちゃの煮物が美味しかった。
- ・唐辛子と七味が欲しかった。

1/1 お節

- ・数の子が美味しいね。 ・おめでたいもの頂きました。 ・栗きんとんが一番好き。
- ・こんなに豪華なもの頂けて嬉しいです。 ・作るの大変だったよね、ありがとう。 ・お正月らしいですね。
- ・紅白なますがもつと酸味が効いていて欲しかった。 ・黒豆が美味しかった。
- ・盛り付けが綺麗で嬉しいです。 ・老人に優しい軟らかさですね。 ・お粥だけど赤飯美味しかったです。

1/2 ちらし寿司

- ・完食しました。 ・彩り綺麗で美味しかったです。 ・お饅頭が一番美味しい。 ・酢飯久しぶりに食べました。
- ・干びょうが甘煮であって散らされているから味がしっかりしていて美味しいです。
- ・お饅頭のピンクとちらし寿司のピンクが可愛いね。

栄養科より

年末年始にかけて、ささやかながら年越しとお正月気分を味わっていただくことができました。皆様からいただいた温かい言葉を励みに、今後とも安全で美味しく楽しいお食事の提供に努めてまいりますので本年もどうぞよろしくお願いたします。

江東リハビリテーション病院栄養科 スタッフ一同



学校法人巨樹の会
令和健康科学大学
 REIWA HEALTH SCIENCES UNIVERSITY

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号
 TEL 092-607-6701 (代表) FAX 092-607-6740
 HP: <https://www.rhs-u.ac.jp/>



看護学科 SCHOOL OF NURSING | 理学療法学科 REHABILITATION / PHYSICAL THERAPY | 作業療法学科 REHABILITATION / OCCUPATIONAL THERAPY

むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者さんが、
 その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
 今回はその取り組みのひとつをご紹介します。

第5回 むすびプロジェクト研修会
 ケアマネジャーの視点とケアプラン作成のプロセスを学ぶ

令和7年8月4日、東京品川病院にて第5回むすびプロジェクト研修会を開催しました。現地会場とZOOM合わせて関東カマチグループ職員725名が参加し「ケアマネジャーの視点とケアプラン作成のプロセスを学ぶ」をテーマに、ご講演いただきました。講義では『ケアマネジャーは患者さん本人よりも家族と関わる時間が長く、どうしても家族の介護負担を優先的に考えてしまう。このため病院スタッフの目線で患者さんの声を聞き、私たちに届けてほしい』という具体的なアドバイスも頂けました。また『患者さんの10年後20年後、どう最期を迎えるのかまで考え、長期的な視点で支援内容を検討している』といったお話もあり、退院後に長く続いていく生活期を見据えた退院支援の大切さを感じました。今回の研修を活かし、ケアマネジャーと我々病院スタッフにて情報共有を積極的に行い、質の高い退院支援に努めていきたいと思います。

▲あおぞらの里 馬橋ケアプランセンター
 主任ケアマネジャー 小柳淳弥氏

ACCESS MAP

※ 敷地内は全面禁煙です



医療法人社団 巨樹の会
江東リハビリテーション病院

TEL 03-6880-1555

〒136-0073
 東京都江東区北砂2丁目15-15
 FAX 03-6880-1556



交通のご案内 西大島駅(都営新宿線)徒歩8分
 都営バス 大島1丁目・北砂3丁目から徒歩3分